

医療通訳者基礎養成講座(平成 29 年度第 4 回)報告

(助成：群馬県共同募金会「地域から孤立をなくそう」事業)

平成 30 年 2 月 18 日 於 群馬県庁昭和庁舎 35 会議室他 参加者 35 名

13:00～本年度医療通訳者派遣実績ご報告及び課題 **事務局 重田**

- ・通訳派遣：平成 30 年 1 月末現在 277 件 S123 件 C55 件 P37 件など
- ・3 月末までに 350 件の実績が見込まれます。

最近の傾向として言語別ではタガログ語、ネパール語、ベトナム語の依頼が増えています。診療科別では産婦人科の依頼件数が増えています。

産婦人科の定期検診では通訳者の都合に合わせた診療日にならないようにコーディネーターすることが課題。また支払い困難な患者の通訳の場合、申請書の内容以外に支払いの仕組み、在留カード、生活面など多岐にわたる通訳を求められ、予定時間をオーバーする事案があるので、病院の SW とも細かく情報共有し、通訳者に丁寧に分かりやすく通訳内容をお伝えしていく必要があると感じています。

「当会のこれまでの活動及び今後の活動について」 **代表理事 山口**

- ・5 年前の設立以降、通訳者養成の講習会開催、シンポジウム開催など普及活動、外国人や病院対象のアンケート調査、関係者との意見交換を行ってきました。昨年度は医療通訳者派遣を始め、実績 180 件。本年は群馬県から派遣コーディネート業務を委託され、1 月末現在で先の予約までいれると 350 件近く実績および依頼があり、年度末には 400 件近い実績になると見込まれています。来年度は 500 件にもなるものと見込まれます。今後は、当会が助成金をとって維持するのではなく関係者がともに財政基盤整備も含め支える群馬の制度とすることが必要です。通訳者の皆さんはボランティアではなく、より専門の知識を持った専門家として活動する必要があります。講習会などを通し、医療通訳者として実力をつけることが大切です。当会は来年度さらに充実した講習会を目指しています。

13:30～14:30 **通訳を実践した皆さんからのご報告、ご意見**

- ・昨年度、本年度通訳実績を持つ通訳者のうち、講習会に参加された 15 名の皆さんからご意見をいただきました。別紙のとおり。

14:30～14:40 **当会の HP のご紹介** **理事 松本**

- ・情報収集、通訳の際の準備、勉強に生かすことができる HP の利用の仕方などをご紹介します。

14:50～15:20 **ロールプレイの内容を理解するために「受診に活用できる制度について」** **群馬県医療ソーシャルワーカー協会 青木 優一 氏**

- ・依頼が多く、制度理解が難しい出産を主に諸制度をご説明いただきました。通訳の際に活用できる資料をご用意いただきました。質問が多く出ました。

15:20～16:30 **ロールプレイ「産婦人科：産科医療補償制度」言語グループ学習**

- ・英語、中国語、スペイン・ポルトガル語、ネパール語、ベトナム語、タイ語、タガログ語、インドネシア語に分かれてロールプレイに取り組みました。

【ロールプレイ各言語 講師などからの講評から】

- ・「確認したい単語」の確認に時間がかかった。事前に HP などを利用して参加者が準備できるようにすると時間を有効に使える。
- ・ロールプレイの時間が足りない。
- ・英語は参加者が多く2グループに分かれてよかった。それぞれにネイティブの講師が必要。
- ・シナリオのうち大切なところは何度も確認する必要がある。
- ・通訳の正確さにまだまだ問題がある。練習が必要。
- ・一人参加の場合のロールプレイの在り方が課題。

【参加者の皆さんからのアンケート結果】

- ・参加した理由： 通訳技術向上14 ・言語グループ学習参加10 ・情報収集10 ・そのほか2
- ・通訳者報告： よかった19 ・まあまあ3 ・あまりよくなかった1
(実情、苦勞が分かった。実務改善に役立ててほしい。通訳技術向上に寄与する。)
- ・講義「受診に活用できる制度について」 よかった14 ・まあまあ4・あまりよくなかった1
(講師にロールプレイの間回っていただきよかった。)
- ・ロールプレイ:よかった10 ・まあまあ5・あまりよくなかった1
(英語: 翻訳シナリオがほしい。時間が少ない。実践的体験になった。言葉の確認が役立った。)
- ・言語グループ自主学習について: スペイン語は月一度やりたい。
- ・今後、来年度講習会への希望: キーワードは HP に載せるなど事前にほしい、ノートテイキング、医療制度、乳がん、甲状腺